

令和8年度 専攻科入学

学生募集要項

推薦選抜

出願書類受付期間 令和7年4月24日（木）～4月28日（月）

検 査 日 令和7年5月10日（土）

合 格 発 表 令和7年5月16日（金）

学力選抜

出願書類受付期間 令和7年6月2日（月）～6月5日（木）

検 査 日 令和7年6月14日（土）

合 格 発 表 令和7年6月25日（水）

社会人特別選抜

出願書類受付期間 令和7年12月17日（水）～12月19日（金）

検 査 日 令和8年1月10日（土）

合 格 発 表 令和8年1月16日（金）



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532

新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課教務入試係

TEL : 0258-34-9434

FAX : 0258-34-9339

E-mail : kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ : <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

長岡工業高等専門学校の教育理念と教育目標

長岡工業高等専門学校では、以下に示す教育理念と教育目標を掲げて、教育活動を行っています。受験に当たっては、ここに示す内容を十分にご理解ください。

教育理念 「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成」

☒ 教育目標 ☐ 学習・教育到達目標

専攻科課程の教育目標と学習・教育到達目標

(A)人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成

- (A1) 人文・社会科学に関する基礎的な事項について説明できること。
- (A2) 工業技術が社会、自然環境や人間に及ぼしている影響について、例を示し説明できること。
- (A3) 工業技術が地球環境に及ぼしている影響について、技術者倫理に照らして対応策を提案できること。

(B)すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成

- (B1) 論理的な文章が書けること。
- (B2) 日本語による科学技術の報告書の作成及び発表・討論ができること。
- (B3) 異なる文化的背景を持つ多様な国際文化を理解できること。
- (B4) 英語のコミュニケーション能力として基本的な読み取り、聞き取りができること。

(C)早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成

- (C1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する発展的な問題が解けること。
- (C2) 工学の基礎知識が、技術の分野でどのように応用されているかを説明できること。
- (C3) 基礎工学の知識を理解し、それらを用いて基本的な問題が解けること。

(D)工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成

- (D1) 専門工学の知識を理解し、特定の専門分野ごとの代表的な問題を解けること。
- (D2) 特定の専門分野の問題解決のために必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールを活用できること。
- (D3) ものつくりのために実験・実習で身につけた技術・技能を活用できること。
- (D4) 問題を解決するために必要な情報を収集し、解析するための情報技術を使いこなせること。

(E)多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成

- (E1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、工学的課題の解決方法を説明できること。
- (E2) あらゆる制約（時間、設備、資金、人的・物的資源など）を考慮しながら、課題を解決するための計画を作成できること。
- (E3) 異なる技術分野を理解し、自分の得意とする専門分野の知識とあわせて、状況に応じてチームでも技術的課題を解決できること。

(F)地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成

- (F1) 企業等での実習体験をととして、地域社会と産業の要求している内容を把握し整理できること。
- (F2) 自分が身に付けた技術的な知識や能力が、地域社会と産業にどのように活用できるかを説明できること。

(G)自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成

- (G1) 工学の専門分野における技術的な動向について説明できること。
- (G2) 工学的な問題を発見して、その解決に必要な情報や資料を収集し、整理できること。
- (G3) 技術的な問題の解決のために、計画して、実施して、その活動を評価し、改善策を提案できること。

長岡工業高等専門学校専攻科のアドミッションポリシー

1. 求める学生像

長岡工業高等専門学校専攻科は、「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者」の育成を目指しています。そのため、本校では以下の能力や考えを持つ志願者を求めます。

- (1) 教養や倫理観、科学や技術の基礎を身に付けており、それらを高め、社会の発展につながるより高度な科学技術を学びたいと考えている人
- (2) 工学の専門知識、ものづくりのスキルの基礎を身に付けており、それらを高め、より高度な実践力を身に付けたいと考えている人
- (3) 多様な人々と協働できるコミュニケーション能力、問題発見・解決能力の基礎を身につけており、それらを高めることで、より高度な創造力を発揮したいと考えている人
- (4) 未来に目標を定めて主体的に学び続ける意欲があり、地域や世界で活躍したいと考えている人

2. 入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った適性を有する人材を選抜するため、次のような方針で入学者選抜を行います。

- (1) 推薦選抜（推薦書、調査書及び面接結果の総合評価）
- (2) 学力選抜（調査書及び学力検査結果の総合評価）
- (3) 社会人特別選抜（推薦書、調査書及び面接結果の総合評価）

目 次

ページ

I	募集人員	1
II	選抜区分・検査日・募集人数	1
III	推薦選抜	1
IV	学力選抜	3
V	社会人特別選抜	6
VI	入学手続等について	9
VII	注意事項	11
VIII	大学改革支援・学位授与機構における「学士」の学位取得	12
IX	長岡工業高等専門学校専攻科・長岡技術科学大学連携教育プログラム	12
X	技術者教育プログラム（JABEE）	13
XI	個人情報の取扱いについて	13

【参 考】

検査場案内図	巻末
--------	----

I 募集人員

専攻名	募集人員
電子機械システム工学専攻	12名
物質工学専攻	4名
環境都市工学専攻	4名

II 選抜区分・検査日・募集人数

選抜区分	検査日	募集人数
推薦選抜	令和7年5月10日（土）	各専攻とも募集人員の50%程度
学力選抜	令和7年6月14日（土）	各専攻とも募集人員の50%程度
社会人特別選抜	令和8年1月10日（土）	若干名

III 推薦選抜

1. 出願資格及び出願要件

令和8年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、学校長が学業、人物ともに優れていると認める者で次の①、②のいずれの要件にも該当するもの

- ① 在籍校の4年次のクラス席次が上位50%以内のもの
- ② TOEIC Listening & Reading 公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）のスコアを400点以上又は実用英語技能検定2級以上を取得したもの（いずれも令和5年5月11日から令和7年3月31日までに受験したものを有効とする。）

2. 出願手続

本校ホームページからWEB出願システムにアクセスしてWEB出願エントリーを行い、検定料（16,500円）及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提出されたことをもって出願完了となります。WEB出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WEB出願エントリーは、令和7年4月10日（木）から受付を開始します。

なお、入学志願者の主たる家計支持者が、令和7年度推薦選抜実施日（令和6年5月11日（土））から、令和8年度推薦選抜実施日の前日（令和7年5月9日（金））までの間に災害救助法適用地域に居住して被災し、市区町村等の発行する罹災証明書等の交付を受けたときは、検定料が免除されます。申請方法等については、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

(1) 出願書類受付期間

令和7年4月24日（木）～4月28日（月）

担当窓口での出願書類の受付時間は、9時00分から17時00分までとし、郵送の場合は、令和7年4月28日（月）17時00分（必着）とします。

(2) 出願書類

入学志願者及び学校長は、次の表により出願書類を作成してください。入学志願者は、WEB出願システムから出力される宛名票を貼り付けた角型2号封筒に出願書類を入れ、担当窓口を持参するか、簡易書留郵便にて送付してください。なお、出願書類を入れる封筒は、入学志願者が用意してください。

[出願書類一覧]

写 真 票	WEB 出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。 利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとしします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB出願システムにアップロードしない場合は、写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
推 薦 書	本校所定様式により学校長が作成したもの
調 査 書	本校所定様式により学校長が作成し、厳封したもの(高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付すること。)
TOEIC スコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の原本	※TOEIC スコア認定証 令和5年5月11日から令和7年3月31日までに受験した、TOEIC Listening & Reading 公開テスト結果 Official Score Certificate (公式認定証) の原本 ※ Official Score Certificate は、確認後、志願者に返却します。 ※実用英語技能検定の合格証明書 令和5年5月11日から令和7年3月31日までに受験した、実用英語技能検定の2級以上の合格証明書の原本 ※ 合格証明書の原本は、確認後、志願者に返却します。
返信用封筒	角型2号封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記し、140円切手を貼付したもの(TOEIC スコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の返却に使用します。)

推薦書及び調査書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(3) 出願手続に関する留意事項

- ① 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係(連絡先は表紙に記載)に申し出てください。
- ② WEB 出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ③ 本校出身者以外で出願を予定している者は、それまでの教育プログラムが JABEE 基準に対応しているかどうかを確認する必要がありますので、必ず出願前に学生課教務入試係に照会してください(JABEEについては、13ページを参照してください。)

3. 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地
長岡工業高等専門学校 学生課教務入試係
TEL : 0258-34-9434 FAX : 0258-34-9339

4. 選抜方法

(1) 選抜方法

選抜は、以下の3つの資料に基づいて、総合的に審査して行います。

- ① 推薦書の内容
- ② 調査書の内容
- ③ 本校が課す「面接」の結果
 - ・1人10分程度の個人面接を実施します。

(2) 面接

- ① 日 時：令和7年5月10日(土) 9時30分～
 - ② 検査場：長岡工業高等専門学校
 - ③ 入室時間及び場所：8時50分～9時10分 本校4号館入り口
- なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係(連絡先は表紙に記載)へ連絡

してください。

5. 選抜結果の発表及び通知

- (1) 日 時：令和7年5月16日（金）10時00分
 - (2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。
 - ① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を専攻別に掲示
 - ② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を専攻別に掲載
合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi>
- （注1） 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。
- ③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和7年5月16日（金）10時00分以降に郵送）
- （注2） 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとなりますので、必ず通知書で確認してください。

電話等による問合せには、一切応じません。

6. 入学確約書の提出

合格者には、「入学確約書」の用紙を合格通知書と併せて送付しますので、必要事項を記入の上、令和7年6月20日（金）（必着）までに学生課教務入試係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意志がないものとして扱います。

7. 「推薦選抜」で合格とならなかった者の「学力選抜」の受験

「推薦選抜」の結果、合格とならなかった者が「学力選抜」の受験を希望する場合は、「学力選抜」のWEB出願エントリーを行い、検定料（16,500円）及び手数料等を納付し、出願書類受付期間内に出願の手続を再度行ってください。この場合、出願書類のうち「調査書」の再提出は必要ありません。

IV 学力選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
 - (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができるもの
 - (3) 短期大学を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
 - (4) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの
 - (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
 - (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ※ 出願資格(5)～(8)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので令和7年5月16日（金）までに学生課教務入試係に電話等により照会してください。

2. 出願手続

本校ホームページからWEB出願システムにアクセスしてWEB出願エントリーを行い、検定料（16,500円）及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提



出されたことをもって出願完了となります。WEB 出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WEB 出願エントリーは、令和7年4月10日（木）から受付を開始します。

なお、入学志願者の主たる家計支持者が、令和7年度学力選抜実施日（令和6年6月8日（土））から、令和8年度学力選抜実施日の前日（令和7年6月13日（金））までの間に災害救助法適用地域に居住して被災し、市区町村等の発行する罹災証明書等の交付を受けたときは、検定料が免除されます。申請方法等については、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

(1) 願書受付期間

令和7年6月2日（月）～6月5日（木）

担当窓口での出願書類の受付時間は、9時00分から17時00分までとし、郵送の場合は、令和7年6月5日（木）17時00分（必着）とします。

(2) 出願書類

入学志願者及び学校長又は学長は、次の表により出願書類を作成してください。入学志願者は、WEB 出願システムから出力される宛名票を貼り付けた角型2号封筒に出願書類を入れ、担当窓口を持参するか、簡易書留郵便にて送付してください。なお、出願書類を入れる封筒は、入学志願者が用意してください。

[出願書類一覧]

写 真 票	WEB 出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとし、カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB 出願システムにアップロードしない場合は、写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
調 査 書	本校所定様式により学校長又は学長が作成し、厳封したもの ただし、出願資格(1)、(4)、(5)により出願する者はそれぞれ次の書類を提出すること。 ・出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書 ・出願資格(4)により出願する者は、次の証明書も併せて提出すること。 ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したこと又は修了見込みであることの証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・出願資格(5)により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書
TOEICスコア認定証又は 実用英語技能検定の合格証明書の 原本	*TOEIC スコア認定証 令和5年6月15日から出願時まで取得した、TOEIC Listening & Reading 公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）の原本 ※ Official Score Certificate は、確認後、志願者に返却します。 *実用英語技能検定の合格証明書 令和5年6月15日から出願時まで取得した、実用英語技能検定の2級以上の合格証明書の原本 ※ 合格証明書の原本は、確認後、志願者に返却します。
返信用封筒	角型2号封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、140円切手を貼付したもの（TOEIC スコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の返却に使用します。）
そ の 他	日本国内に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」を提出すること。

調査書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを

用してください。

(3) 出願手続に関する留意事項

- ① 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係（連絡先は表紙に記載）に申し出てください。
- ② WEB 出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ③ 外国の学校又は機関が作成した書類（成績証明書を除く）については、必ず日本語訳を添付してください。
- ④ 本校出身者以外で出願を予定している者は、それまでの教育プログラムが JABEE 基準に対応しているかどうかを確認する必要がありますので、必ず出願前に学生課教務入試係に照会してください（JABEE については、13 ページを参照してください。）。

3. 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地
長岡工業高等専門学校 学生課教務入試係
TEL：0258-34-9434 FAX：0258-34-9339

4. 選抜方法

(1) 選抜方法

選抜は、以下の 3 つの資料に基づいて、総合的に審査して行います。

- ① 調査書の内容
 - ② 学力検査の成績
 - ③ 英語能力（TOEIC スコア）の換算点
- 調査書、学力検査及び英語能力の配分は下表のとおりです。

調査書	学 力 検 査		英語能力
	数 学	専門科目	TOEIC スコアによる換算点
100 点	100 点	300 点	100 点

(2) 英語能力（TOEIC スコア）の換算点について

- ① 令和 5 年 6 月 15 日から出願時まで取得した TOEIC スコアを以下の表に当てはめ換算点とします。
- ② 令和 5 年 6 月 15 日から出願時まで取得した実用英語技能検定準 1 級以上は、TOEIC スコア 600 点相当、2 級は TOEIC スコア 470 点相当とみなし、以下の表に当てはめ換算点とします。

TOEIC スコア	換算点
600 点以上	100 点
595 点～105 点	99 点～1 点 次の計算式により換算点を算出 (TOEIC スコア－100) × 0.2 点
100 点以下	0 点

(3) 学力検査

- ① 期 日：令和 7 年 6 月 14 日（土）
- ② 検査場：長岡工業高等専門学校
- ③ 入室時間及び場所：8 時 40 分～9 時 00 分 本校 4 号館入り口

④ 学力検査科目及び出題範囲

検査科目	専攻名	出題範囲
数 学	全専攻共通	微積分（1変数、2変数、微分方程式を含む）、線形代数
専門科目	電子機械システム工学専攻	物理の基礎事項（物理基礎、物理）、質点の力学、質点系と剛体、電気回路
	物質工学専攻	無機化学、物理化学、有機化学、生物化学
	環境都市工学専攻	構造・材料工学、水理・土質工学、計画・環境工学

⑤ 時間割

科 目 等	時 間
検査室入室	8時40分～9時00分
数 学	9時20分～10時20分
専 門 科 目	10時40分～12時40分

※ 指定された学力検査科目は、全て受験しなければなりません。指定された学力検査科目のうち1つでも受験しなかった場合は、欠席扱いとなり、選抜の対象外とします。

なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係（表紙に記載）へ連絡してください。

5. 選抜結果の発表及び通知

(1) 日 時：令和7年6月25日（水）10時00分

(2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。

① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を専攻別に掲示

② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を専攻別に掲載

合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi>

(注1) 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。

③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和7年6月25日（水）10時00分以降に郵送）

(注2) 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとなりますので、必ず通知書で確認してください。

電話等による問合せには、一切応じません。

6. 入学確約書の提出

合格者には、「入学確約書」の用紙を合格通知書と併せて送付しますので、必要事項を記入の上、令和7年10月17日（金）（必着）までに学生課教務入試係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意志がないものとして扱います。

入学を辞退する者は、同じく令和7年10月17日（金）までに「入学辞退届」を学生課教務入試係へ提出してください。



V 社会人特別選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当し、所属する企業等の長が勤務成績、人物ともに優れていると認める者

(1) 高等専門学校を卒業した者

(2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができるもの

(3) 短期大学を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの

(5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (8) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(5)～(8)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので令和7年11月18日（火）までに学生課教務入試係に電話等により照会してください。

出願を予定している者は、入学を希望する専攻の教員と直接連絡を取って、研究計画等について相談してください。

2. 出願手続

本校ホームページからWEB出願システムにアクセスしてWEB出願エントリーを行い、検定料（16,500円）及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提出されたことをもって出願完了となります。WEB出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WEB出願エントリーは、令和7年12月1日（月）から受付を開始します。

なお、入学志願者の主たる家計支持者が、令和7年度社会人特別選抜実施日（令和7年1月11日（土））から、令和8年度社会人特別実施日の前日（令和8年1月9日（金））までの間に災害救助法適用地域に居住して被災し、市区町村等の発行する罹災証明書等の交付を受けたときは、検定料が免除されます。申請方法等については、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

(1) 願書受付期間

令和7年12月17日（水）～12月19日（金）17時00分必着

出願書類は、郵送でのみ受付します。受付期間内に到着するように、出願書類を簡易書留郵便で郵送してください。

(2) 出願書類

入学志願者及び所属企業等の長並びに学校長又は学長は、次の表により出願書類を作成してください。入学志願者は、WEB出願システムから出力される宛名票を貼り付けた角型2号封筒に出願書類を入れ、簡易書留郵便で郵送してください。なお、出願書類を入れる封筒は、入学志願者が用意してください。

[出願書類一覧]

写 真 票	WEB出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB出願システムにアップロードしない場合は、写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
推 薦 書	本校所定様式により所属企業等の長が作成したもの
調 査 書	本校所定様式により出身学校長又は学長が作成し、厳封したもの ただし、出願資格(1)、(4)、(5)により出願する者はそれぞれ次の書類を提出すること。 ・出願資格(1)により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書 ・出願資格(4)により出願する者は、次の証明書も併せて提出すること。 ① 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了したことの証明書 ② 専修学校の専門課程の学科の分野や履修内容が確認できる書類 ・出願資格(5)により出願する者は、出願資格に係る最終学校の成績証明書

そ の 他	日本国内に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」を提出すること。
-------	---

推薦書及び調査書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(3) 出願手続に関する留意事項

- ① 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係（連絡先は表紙に記載）に申し出てください。
- ② WEB 出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

3. 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地
長岡工業高等専門学校 学生課教務入試係
TEL : 0258-34-9434 FAX : 0258-34-9339

4. 選抜方法

(1) 選抜方法

選抜は、以下の3つの資料に基づいて、総合的に審査して行います。

- ① 推薦書の内容
- ② 調査書の内容
- ③ 本校が課す「面接」の結果
 - ・口頭試問を含め、1人15分程度の個人面接を実施します。

(2) 面接

- ① 日 時：令和8年1月10日（土）9時30分～
- ② 検査場：長岡工業高等専門学校
- ③ 入室時間及び場所：8時50分～9時10分 本校4号館入り口

なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係（連絡先は表紙に記載）へ連絡してください。

5. 選抜結果の発表及び通知

- (1) 日 時：令和8年1月16日（金）10時00分

- (2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。

- ① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を専攻別に掲示
- ② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を専攻別に掲載

合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi>

（注1） 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。

- ③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和8年1月16日（金）10時00分以降に郵送）

（注2） 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとなりますので、必ず通知書で確認してください。

電話等による問合せには、一切応じません。

6. 入学確約書の提出

合格者には、「入学確約書」の用紙を合格通知書と併せて送付しますので、必要事項を記入の上、令和8年1月30日（金）（必着）までに学生課教務入試係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意志がないものとして扱います。

入学を辞退する者は、同じく令和8年1月30日（金）までに「入学辞退届」を学生課教務入試係へ提出してください。



VI 入学手続等について

1. 入学手続

- (1) 手続日及び場所：令和8年3月16日（月） 長岡工業高等専門学校
 - (2) 内容：入学料納付、提出書類を確認し、入学許可書を交付します。
入学料を納付しない場合（入学料免除申請者を除く。）は、入学を許可しません。
 - (3) 問合せ先：〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地
長岡工業高等専門学校 学生課教務入試係
- ※ 入学手続に関する詳細をまとめた「入学手続要項」を郵送します（2月下旬を予定）ので、よく読んで準備してください。

2. 諸納付金

- (1) 入学料 84,600 円（一度納入した入学料は、いかなる事情があっても返還しません。）
- (2) 授業料 234,600 円（年額）
 - ① 前期分 117,300 円、後期分 117,300 円に分けて納入することになります。
 - ② 前期分授業料については、入学後、指定口座から引き落とします（期日未定）。
 - ③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 学位審査手数料 32,000 円
- (4) その他の経費

種 類	第 1 学年	第 2 学年
教科書・教材費	約 20,000 円	約 20,000 円
後 援 会 費	前期分 23,000 円 (入会金 10,000 円 含む) 後期分 8,000 円 留学生 前期分 3,000 円 後期分 3,000 円	前期分 13,000 円 後期分 8,000 円 留学生 前期分 3,000 円 後期分 3,000 円
学 生 会 費	2,500 円	2,500 円
同 窓 会 費	15,000 円	0 円
学生証アプリ利用料	2,640 円	2,640 円
日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金	1,550 円	1,550 円
ジェネリックスキル測定・PROG テスト受験料	0 円	2,200 円
合 計	約 72,690 円	約 49,890 円

※ 本校の学科卒業生は、後援会入会金及び同窓会費は必要ありません（ただし、後援会入会金は、学科から引き続き入学した者に限る。）。

3. 授業料免除制度等

- (1) 修学支援法（高等教育の修学支援新制度）による授業料等減免
令和2年4月から新たに修学支援新制度が始まりました。この新しい制度は、授業料・入学金の免除又は減額（授業料等減免）、給付型奨学金の支給の2つの支援により、高等教育機関で安心して学んでいただくものです。後述の日本学生支援機構の給付型奨学金を申請し、採用されることで、授業料等減免を受けることができます。
日本学生支援機構が各世帯の所得金額に基づいて決定する給付奨学金支援区分ごとの免除額
- | | | | | | |
|------|-----|----------|-----|-----------|----------|
| 第Ⅰ区分 | 入学料 | 84,600 円 | 授業料 | 234,600 円 | (全額免除) |
| 第Ⅱ区分 | 入学料 | 56,400 円 | 授業料 | 156,400 円 | (2/3 免除) |
| 第Ⅲ区分 | 入学料 | 28,200 円 | 授業料 | 78,200 円 | (1/3 免除) |
| 第Ⅳ区分 | 入学料 | 21,200 円 | 授業料 | 29,400 円 | (1/4 免除) |
- 〔令和7年度には、法律の改正により多子世帯（扶養する子どもの数が3人以上）に

については支援区分にかかわらず、授業料・入学料の全額免除の対象となる予定です。]

なお、修学支援法（高等教育の修学支援新制度）による授業料等減免を申請予定の場合は、入学手続前に事前に連絡をしてください。減免額審査の間、入学料、授業料については徴収猶予されます。

(2) 国立高等専門学校機構における入学料免除（以下「入学料免除」という。）

入学前 1 年以内において、専攻科に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により納付が著しく困難な場合、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額が免除されます。

(3) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合に本人の申請に基づき選考の上、入学料の納付期限を延長します。

① 経済的理由により所定の期日までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

② 入学前 1 年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、所定の期日までに納付が困難であると認められる場合

③ 修学支援新制度に申請見込みである場合

(4) 国立高等専門学校機構における授業料免除（以下「授業料免除」という。）

主たる学資負担者が死亡や風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難な場合、その期に納付する授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

(5) 授業料徴収猶予及び月割分納

特別な事情により授業料が期日までに納入できない場合又は一括納入できない理由がある場合には、申請により選考の上、徴収の猶予又は月額分納が認められる場合があります。

(6) 申請の時期

① 修学支援法による授業料等減免、入学料免除及び入学料徴収猶予
入学手続時

② 授業料免除、授業料徴収猶予及び月額分納

前期分、後期分それぞれ申請手続が必要です。

説明会や申請手続については、本校 Web サイトやメール、Teams などでお案内しますので、希望者は、見落としのないように注意してください。

制度の詳細については、学生課に問い合わせてください。

4. 奨学制度

日本学生支援機構の奨学金制度について

(1) 貸与型

日本学生支援機構の第一種奨学生（無利子）は、学業優秀でかつ経済的に学資の支弁が困難で奨学金を希望する学生の中から、選考の上、推薦します。日本学生支援機構で審査の上、奨学生として採用されます。

なお、第二種奨学生（有利子）は、第一種奨学生より緩やかな基準となっており、学科第 4 学年以上が対象となります。

① 日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）

貸与月額 自宅通学 20,000 円～45,000 円

自宅外通学 20,000 円～51,000 円

（次項の給付奨学金も受給する場合、貸与額は調整されます。）

② 日本学生支援機構の第二種奨学金（有利子）

貸与月額 20,000 円～120,000 円

(2) 給付型

日本学生支援機構の給付型奨学金制度は、原則として返還義務のない奨学金を支給するもので、奨学金を希望する学生の中から、選考の上、推薦します。日本学生支援機構で審査の上、奨学生として採用されます。

- ① 申請資格
以下の基準全てに該当する者
- ② 学力基準
次のア又はイのいずれかに該当すること。
ア 入学前の学科内順位（平均点）が上位 1/2 の範囲に属すること。
イ アに該当しない場合、修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること。ただし、原級留置となった場合等、学科第 4 学年以降において成績不振があった場合は推薦対象外となります。
- ※ イについては、学習意欲を確認するためのレポート書類を書いてもらいます。
- ③ 家計基準
住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であること。
JASSO のホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」で、収入基準に該当するか、より具体的に確認できますのでご利用ください。
進学資金シミュレーター
<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>
- ④ 給付額
世帯の所得金額に基づく区分に応じて、下表の金額（月額）が給付されます。
- | 区分 | 自宅通学 | 自宅外通学 |
|------|---------------------|----------|
| 第Ⅰ区分 | 17,500 円 (25,800 円) | 34,200 円 |
| 第Ⅱ区分 | 11,700 円 (17,200 円) | 22,800 円 |
| 第Ⅲ区分 | 5,900 円 (8,600 円) | 11,400 円 |
| 第Ⅳ区分 | 4,400 円 (6,500 円) | 8,600 円 |
- （生活保護世帯の人及び進級後も児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。）
- ⑤ 給付期間
修業年限の終期まで
- 日本学生支援機構の奨学金の他、民間育英団体等の奨学金があります。募集については都度、掲示等で周知します。

VII 注意事項

1. 出願

- (1) WEB 出願システムを利用する環境がない場合や、出願に必要な書類を印刷する環境がない場合は、出身学校に相談してください。対応が難しい場合は、推薦選抜に関しては令和 7 年 4 月 17 日（木）までに、学力選抜に関しては令和 7 年 5 月 26 日（月）までに、社会人特別選抜に関しては令和 7 年 12 月 10 日（水）までに学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に相談してください。
- (2) 受理した出願書類は返しません。
- (3) 振込済の検定料は次の場合を除き返しません。
 - ① WEB 出願エントリーにて検定料を払い込んだが出願しなかった（受理されなかった）場合
 - ② 二重に払い込んだ場合
- (4) 推薦書及び調査書の様式については、本校ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/> に掲載しますので、それを利用して作成してください。
- (5) 推薦書及び調査書の『受験番号』欄には、何も書かないでください。

2. 受験者心得

受験票に「受験者心得」が記載してあります。受験の前によく読んでおいてください。

3. 駐車場

駐車場の確保が困難なため、受験者を自家用車で送迎することは避け、バスなどの公共交通機関を利用してください。

4. 上履き

上履きは必要ありません。

5. 宿泊施設

受験のための宿泊施設の提供やあっせんは行いませんので、必要な人は各自確保してください。

6. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

長岡高専では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」にのっとり、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに長岡高専学生課教務入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、それぞれの選抜での入学願書提出期限の一か月前に当たる次の期日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

(1) 推薦選抜：令和7年3月28日（金）

(2) 学力選抜：令和7年5月5日（月）

(3) 社会人特別選抜：令和7年11月19日（水）

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問合せ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても長岡高専学生課教務入試係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示した上で再提出を求めることがあります。（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。受験後又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請されると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務入試係（電話番号）0258-34-9434 （FAX）0258-34-9339
(E-mail) kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

VIII 大学改革支援・学位授与機構における「学士」の学位取得

専攻科を修了見込みの学生は、大学改革支援・学位授与機構に学士の学位授与申請を行い、所定の審査を経ることで、「学士（工学）」の学位が授与されます。

IX 長岡工業高等専門学校専攻科・長岡技術科学大学連携教育プログラム

長岡高専では、長岡高専専攻科と長岡技術科学大学（以下「長岡技科大」という。）との連携による連携教育プログラム「先進テクノロジー実践連携教育プログラム」を令和2年4月か

ら実施しています。長岡高専専攻科推薦選抜で合格した者のうち、長岡技科大が実施する連携教育プログラム特別選抜で合格した者が連携教育プログラムを履修できる学生として入学できます。

本連携教育プログラムでは、長岡高専専攻科、長岡技科大の両方に在籍し、充実した教育・研究環境の下で、双方が開設する講義を受講し、高専・大学教員のダブルメンターによる充実した研究指導を受けることができ、所定の教育課程を修了することで、専攻科の修了証とともに、長岡技科大からの「学士（工学）」の学位が授与されます。

詳しくは、出願前に学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

X 技術者教育プログラム（JABEE）

長岡高専では、平成 16 年 4 月に、日本技術者教育認定機構（JABEE、Japan Accreditation Board for Engineering Education; <https://www.jabee.org/>）の基準に対応するための技術者教育プログラム（生産システム・環境工学プログラム）を設定し、認定を受けています。

この教育プログラムは、本校の学科第 4、5 学年と専攻科第 1、2 学年の 4 年間のカリキュラムで構成されており、4 つの学年に在籍する全ての学生を対象としています。

生産システム・環境工学プログラムについての詳細は、本校のホームページをご覧ください。
(<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/college-info/eep/>)

本校の専攻科に進学する学生は、JABEE 認定プログラムの修了者としての資格を取得するために、次の 3 項目の全てを満たすことを目標に学習します。

- ① 本校専攻科の修了
- ② 大学改革支援・学位授与機構からの「学士（工学）」の取得
- ③ JABEE 認定プログラムの修了

※ 本校出身者以外で出願を予定している者は、それまでの教育プログラムが JABEE 基準に対応しているかどうかを確認する必要がありますので、必ず出願前に学生課教務入試係に照会してください。

XI 個人情報の取扱いについて

本校では「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」に基づき、保有している個人情報について以下のとおり適正に取り扱います。

1. 本校で個人情報を保有するに当たっては、法令の定める業務を遂行するための必要な場合に限りします。
2. 本校が個人情報を取得する場合は、本人に対し利用目的を明らかにして取得します。
3. 本校で保有している個人情報は、厳正な管理下で安全に保管します。
4. 本校が保有する個人情報について、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために自らが利用し、また、第三者に提供することはありません。

なお、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた面接及び学力検査の成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究